

最新の研究成果を、分かりやすく解説

第2回

PIAS セミナー

3万年前の黒潮は今よりも速かったらしい
それでも丸木舟は琉球の海を渡ることができた
ーホモ・サピエンスはどうやって日本列島へ到達したのかー

「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」（国立科学博物館・国立台湾史前文化博物館）において2019年に行った実験航海により、丸木舟を熟達の技で漕げば、黒潮の海を横断して台湾から与那国島へ渡れることが証明されました。

さらに高精度海洋モデルを使った数値シミュレーションにより、黒潮が速かった3万年前頃の海においても、丸木舟は台湾から与那国島へたどりつけることが示されました。ただし旧石器人（旧石器時代人）が黒潮の存在を認識し、その流れに対抗する適切な航海戦略を持っていることが必要条件です。

3万年以上前の旧石器人による琉球列島への渡来は、舟とそれを漕ぐ技術に加え、戦略的挑戦の下に達成されたと言えます。

これらの研究成果は、2025年6月に、国際科学誌「Science Advances」に掲載されました。



郭 新宇 教授

愛媛大学先端研究院
沿岸環境科学研究センター

EHIME UNIVERSITY
CMES
CENTER FOR MARINE ENVIRONMENTAL STUDIES

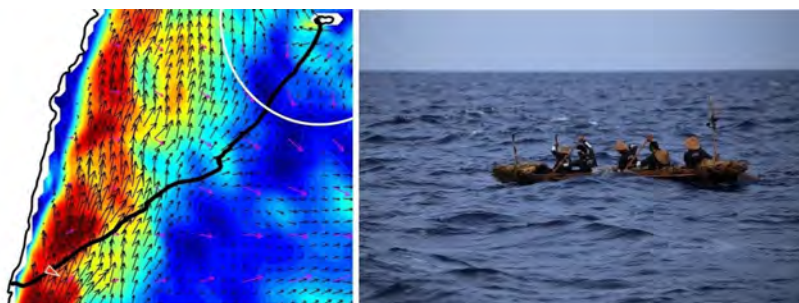


図:丸木舟の実験航海の様子。JCOPE-T-DAによる海流図（左）とその当時の丸木舟（右：海部陽介撮影）。海流図において橙～赤は流速1 m/sを超える黒潮本流。

2025 **7/2** 水
16:00~16:30

eu-PIAS

どなたでもご参加いただけます

オンライン開催

セミナーのログイン情報は、EU_BBSをご覧ください。
学外の方は事前に参加登録をお願いいたします。
<https://www.eu-pias.ehime-u.ac.jp/archives/news/ps02>

〈お問い合わせ〉

愛媛大学 先端研究院 先端研究高度支援室
E-mail: pias_adm@stu.ehime-u.ac.jp

